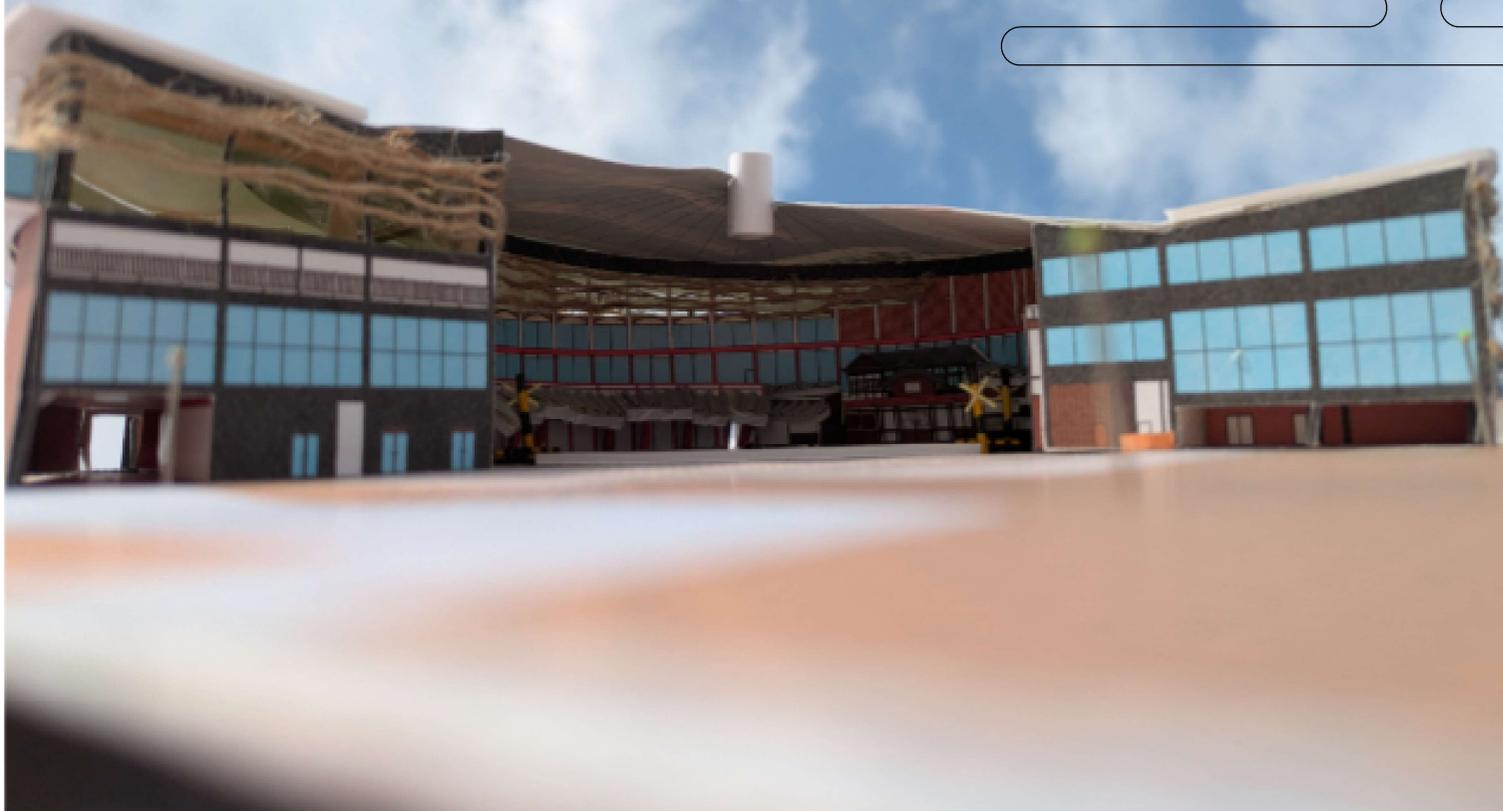


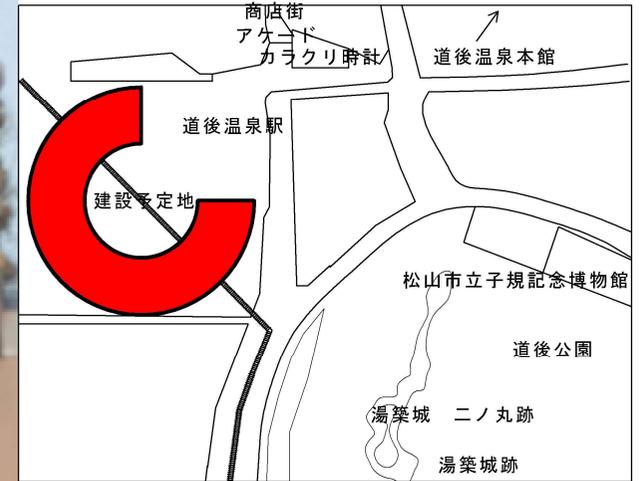
道後温泉駅

一まぼろしの駅



建築概要

敷地場所	道後温泉駅
建築構造	S造
建物高さ	33m
敷地面積	145.5*150.5 21897.75平米
建築面積	11304平米
延べ面積	20505平米



設計予定地

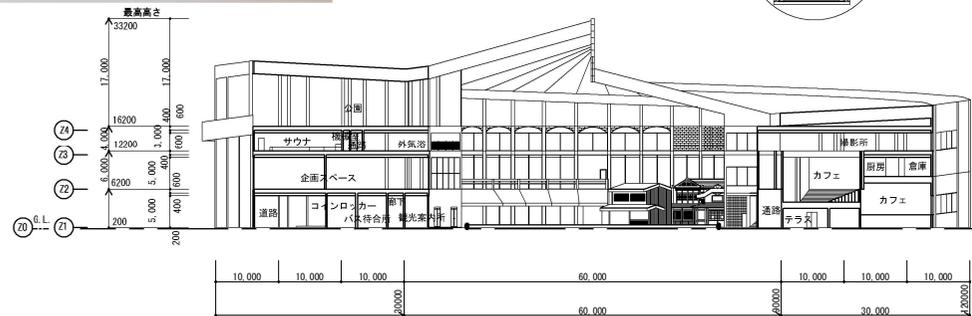


設計主旨

私はテレビ番組「訪日外国人の都道府県認知度ランキング」で、愛媛県の認知度が最下位であることを知った。実際に現地を訪れてみると、テレビで紹介される他県と比べて観光客だけでなく地元の方の姿も少なく、その状況に強い危機感を覚えた。そこで、観光客の少なさや地元住民の利用の少なさという課題を解決するために、建築物としての面白さや利便性だけでなく、「わざわざ何度も訪れたい場所」をつくりたいと考えた。外国人観光客だけを対象にするのではなく、地元の方が交通の拠点として利用し、買い物や休憩ができる、生活の一部となるような駅を中心に、道後や愛媛に多くの人が訪れる駅をつくりたいと考えた。

今回の計画では、「タイムスリップ」をメインテーマとした駅を提案しています。道後温泉本館が建てられた明治・大正時代へと蘇ったような空間をつくり、訪れた人が道後の歴史や当時の空気感を五感で体験できる場を目指した。外観は近代的に、内観は明治・大正の意匠を取り入れ、時代が交錯するようなデザインとしている。また、この建築は観光客だけでなく地元住民も対象としており、地元の方々が日常的に利用できる交通拠点であり、買い物や休憩ができる場所として、生活に溶け込む存在となることを意図している。

この駅を通じて、これから道後や愛媛を知る人、すでに魅力を知っている人たちが、その良さを周囲に伝え、歴史ある道後がさらに賑わい、未来へと受け継がれていきつなげに願ひ、設計した。



A-A断面図 S=1/600

一階、敷地図

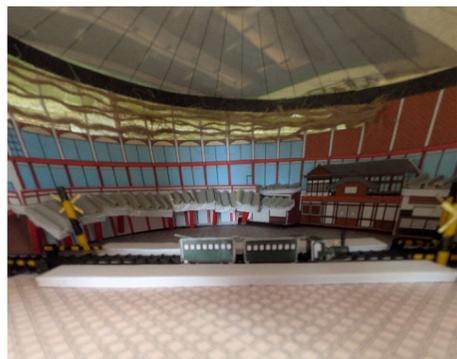
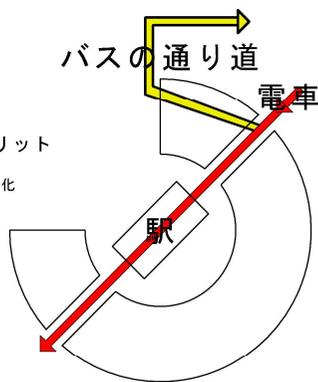
五感で感じるタイムスリップ

視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚で感じる

④ 駅を中心とした建築

駅を建物の中心に置くことのメリット

- ・建物を潜ってくることでタイムスリップを視覚化
- ・駅から最短で移動可能
- ・駅と建築の一体感



タイムスリップ



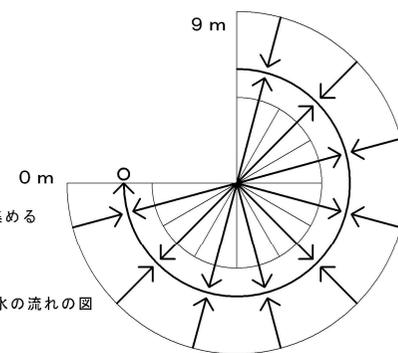
昔の生活を見てみたいや体験したいと思ったことはないだろうか。今そのようなことを体験出来る場所は少ない。
明治や大正といったこの道後温泉本館が出来た時代に行った感覚になるのはどうだろうか。見て、食べて、歩いてと五感で非日常的な時間を体験できるよう建築した。

⑤ 雨水の利用方法

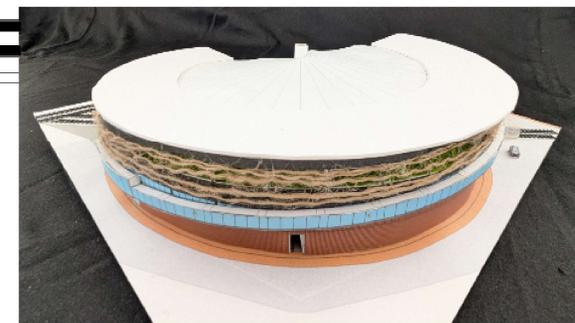
- ・非常時のトイレの水
- ・電車やバス、敷地のタイルの掃除
- ・打ち水による気温上昇の緩和

集める方法

屋根を斜めにし、渦巻き状にし一か所に集める



屋根の水の流れの図

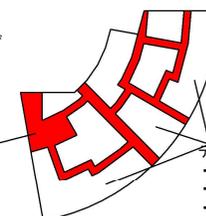


⑥ 路地裏をイメージしたテナントの通り

視覚的要素

⑦

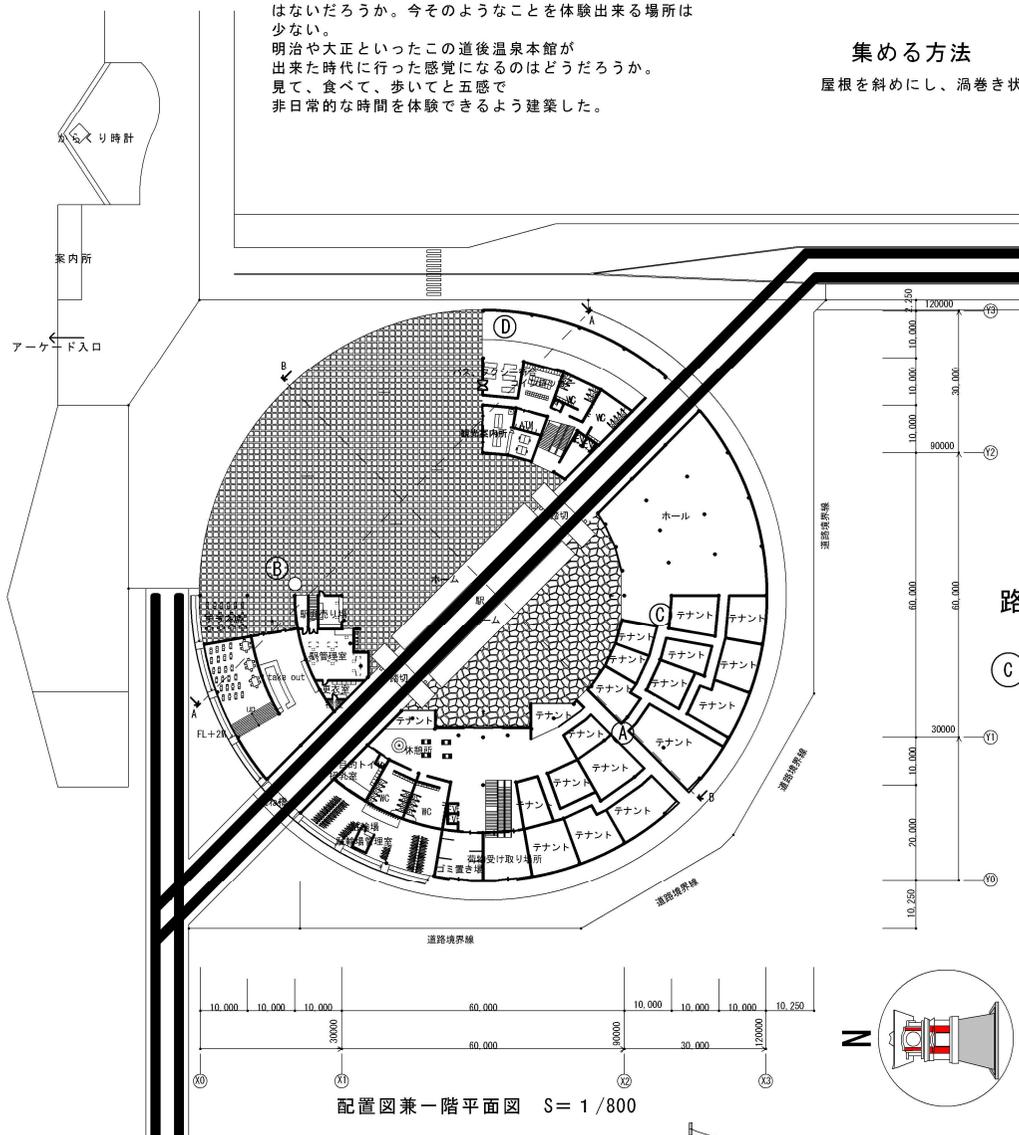
道幅が3Mと狭く、うねっていることで先が見えずもっと先まで行きたくなるようになっている



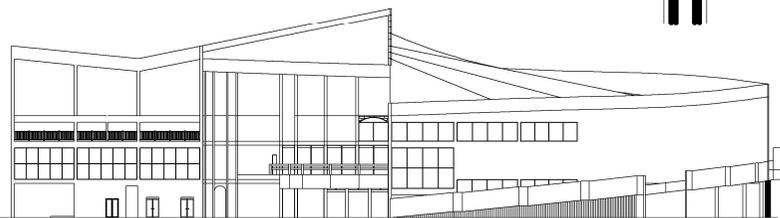
路地裏通路

- ・テナント
- ・レトロな喫茶店
- ・団子屋
- ・和菓子店 etc

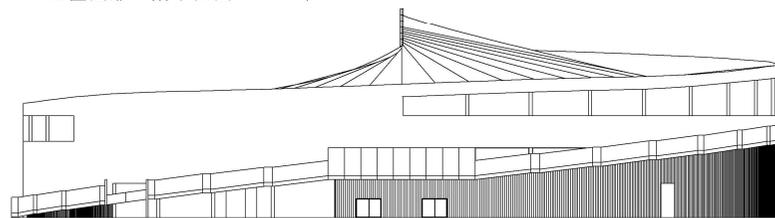
⑧ 地点から見たからくり時計



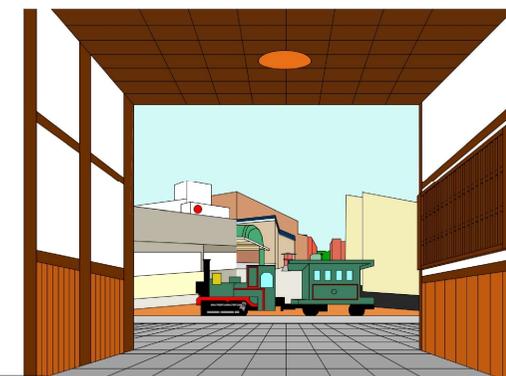
配置図兼一階平面図 S=1/800



北立面図 S=1/600



西立面図 S=1/800

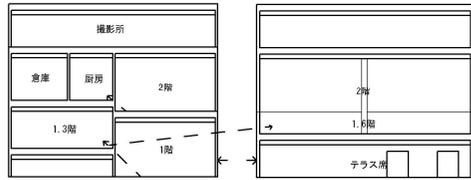


二階

スキップフロアを利用したcafe

明治や大正風の飲み物や食べ物を食べることが出来る。
 コーヒーや和菓子など
 コーヒーカップなどの食器は西洋風のものとなっている。
 二階には図書と足湯が併設
 コーヒーを飲みながらゆっくり本を読んだり、足湯をしながらリラックスできる空間となっています。
 足湯&図書&cafeができる。

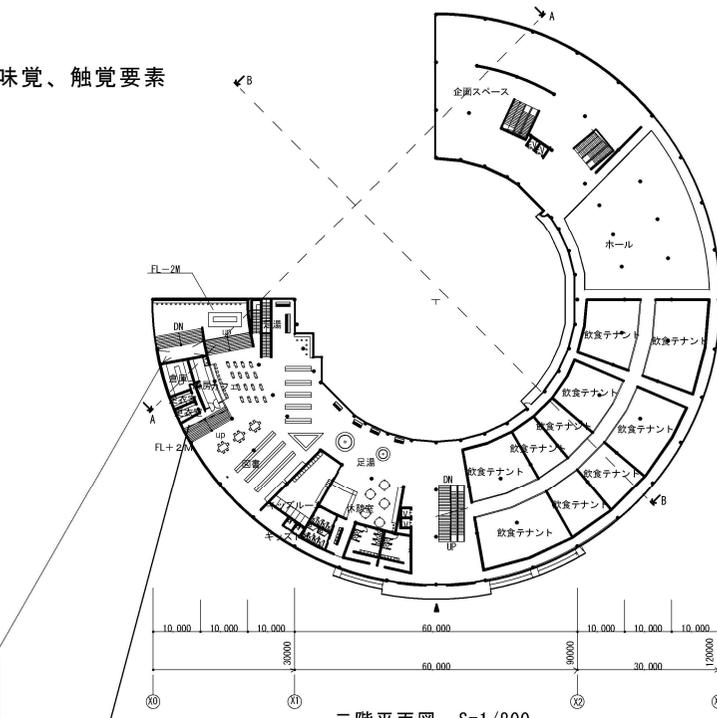
視覚、嗅覚、味覚、触覚要素



cafeの断面図

スキップフロアの利用

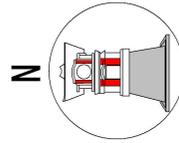
- ・ 坊ちゃん列車を見ることが出来る
- ・ 駅やからくり時計を眺めながら
- ・ 動線とcafeを一緒にすることでスペースを確保



二階平面図 S=1/800

ふらっと食べ歩き

一階部分の路地裏風テナント、一階から四階にかけてのスロープと二階の商店街風テナントエリアをぐるぐると食べ歩きできるようになっている。また二階部分のスロープには高さ5Mと開放的な空間になっており休憩したり、座って食べたりすることが出来る。

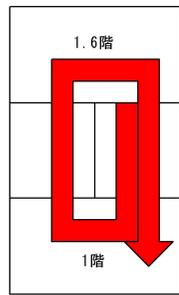


スロープ

四階の屋上まで繋ぐ約280Mのスロープは側面の高さ3mと天井がガラスとなっているため景観を見ながら上がることができる。また、一階から二階にかけての線路との交差部ではスロープの跳ね橋となっていてあそび心が入っている

企画スペースとホール

- ・ 季節に合わせたイベント
- ・ 小中規模のライブ
- ・ 短期間の展示場
- ・ 貸し切りの会議室
- ・ 祭りの季節での祭の観覧会場



拡大図

外観のデザイン

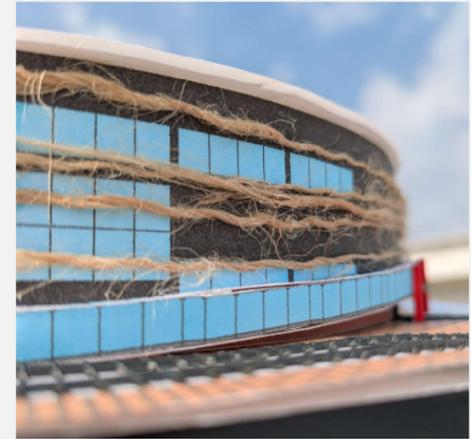
内側

視覚的要素

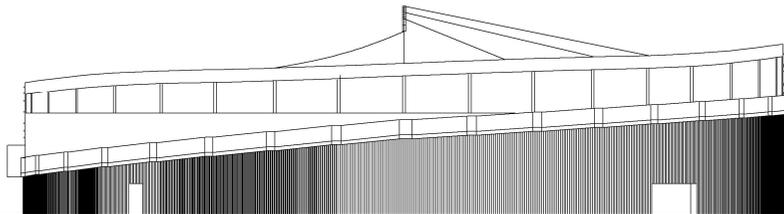
この建築に入る出入り口は二つある。道後温泉本館のような様式の出入り口
 飛鳥の湯のような建築の出入り口
 二階には回り廊下がある



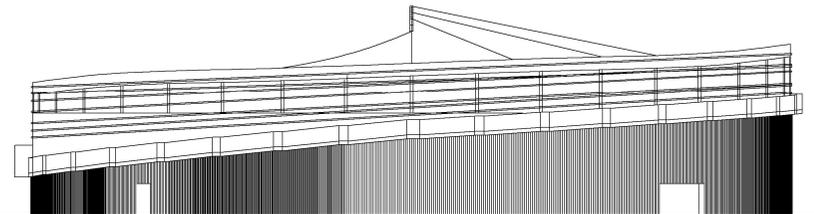
外側



スロープを境目とし主に二つの外観に分かれている。下部分木材を壁の側面に貼り付け日差しを遮ったり、視線を遊んでいる。また見る角度によって、奥の壁の見え方が変わり色々な表情があるのも特徴である。



南立面 S=1/600



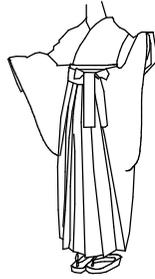
南立面完成予想図 S=1/600

3階R階

「ハイカラ」を着て道後散歩

視覚的、聴覚的、触覚的要素

今の若者は知らないかもしれないが
明治から大正にかけて流行した
西洋風のモダンな文化やファッションについて指す。
矢継の着物に袴、ブーツ、大きなリボンなどの
大正ロマンなスタイルをハイカラのファッションである。
そんなファッションをして道後をあるくという
そんな、ハイカラや和服のレンタルから着付けまでできるお店。
また、道後の街並みを背景に写真を撮ったり、
CG加工を利用してあたかも道後の街並みにいるかのような写真
を撮ることができます。



ハイカラ

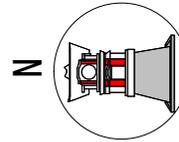
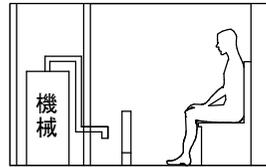
体を癒す一時を

温泉の街を一望しながら整って試みるのはどうだろうか。
このサウナは温泉の源泉の熱気を利用したサウナである。
道後温泉の源泉の水温は20度～55度となっています。
この水温でスチームサウナを作り、ドライサウナよりも
体を癒すことができる。

メリット

- 血行促進、デトックス効果
- リラックス効果
- 美肌効果
- 睡眠の質の向上など

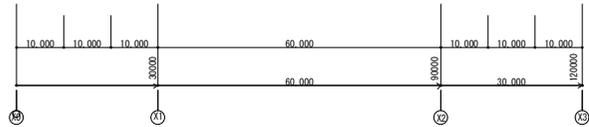
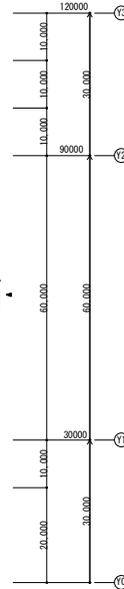
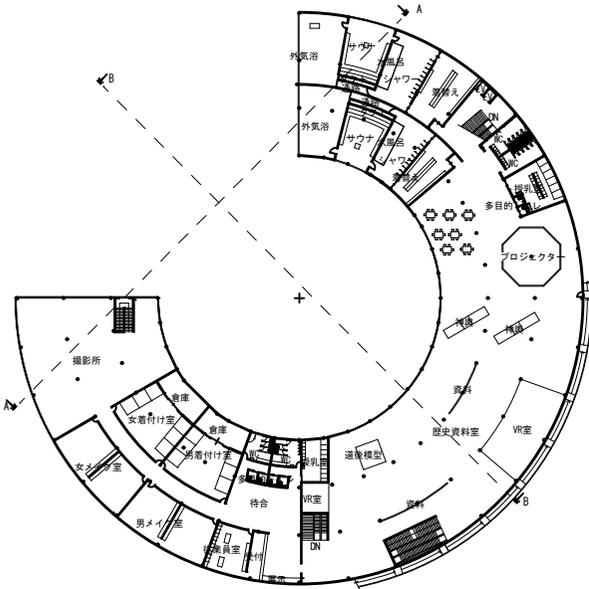
サウナ室の構造



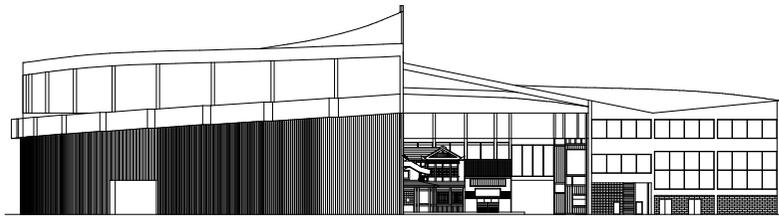
歴史を見て学ぶ

視覚的、触覚的要素

道後温泉が古いのは知っているが、歴史は知らない。
喧嘩神興しているのがなぜなのか知らないという、
観光客や地元の人により知ってもらえる施設である。
VRやプロジェクターを用いて、見て
聞いて楽しんでもらえるようになっている。
神輿の美寸レプリカや道後の街並みを再現した模型などがある。



三階平面図 S=1/800

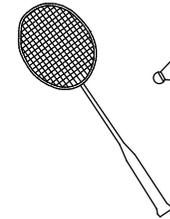


東立面図 S=1/600

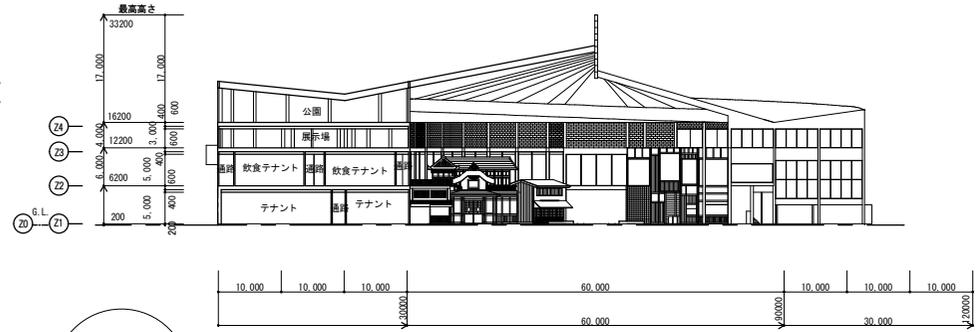
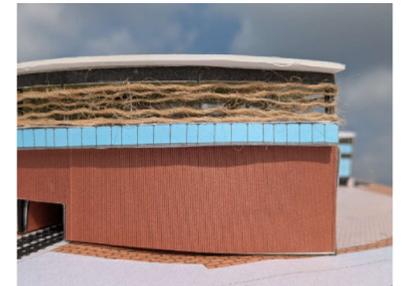


ホット一息

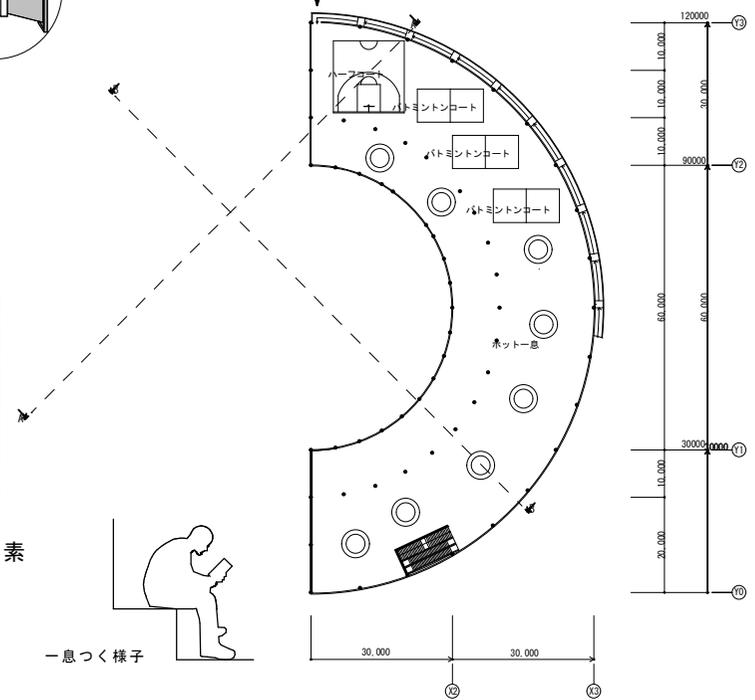
R階平面図 S=1/800



食べ歩き最終地点この屋上公園である
道後の景色を見ながら、ちょっと座って
ご飯を食べたり、バスケットハーフコートや
バドミントンのコートがあるので軽い運動を
することができる。
また、湯上りの一息にもおすすめ涼しい風が
スーッと抜けるので解放感も夕涼みにもいい場所。



B-B断面図 S=1/600



一息つく様子